

日本製粉(株) 第1四半期の連結業績および通期連結業績予想

—販売拡大とコスト削減により増収増益—

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	83,387	103.9	2,527	124.7	3,348	117.8	2,295	129.2
2018年3月期第1四半期	80,274	102.3	2,027	71.9	2,841	80.4	1,777	65.6

< 連結業績のポイント >

- 売上高は、製粉・食品・その他事業ともに販売増加等により増収
- 利益面では、売上増による利益拡大やコスト削減効果等により、製粉・食品・その他事業がいずれも増益

< 連結業績の概況 >

日本製粉(株)(社長 近藤雅之)の2019年3月期第1四半期につきましては、雇用環境の改善に支えられ、堅調に推移したものの、個人消費には力強さが見えず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

食品業界においても、消費者の節約志向を背景に市場が伸び悩んでおり、価格競争が継続する一方で、労働力不足によるコスト増など、事業環境は厳しさを増しております。

このような環境の下、当社グループはコスト削減と販売の増加を軸に、従来の基本施策を踏襲した事業基盤の強化を進めております。自動化の推進などを通じて生産効率を改善しているほか、グループ会社における食品工場の新増設や事業用地取得といった生産拠点の再構築にも積極的に取り組んでおります。

こうした成長戦略をさらに推進するため、本年6月にユーロ円建転換社債型新株予約権付社債を発行し、同時に株主還元の充実と資本効率向上を目的として、自己株式の取得を進めております。

以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は833億8千7百万円(前年同期比103.9%)、営業利益は25億2千7百万円(同124.7%)、経常利益は33億4千8百万円(同117.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億9千5百万円(同129.2%)となり、すべてのセグメントで増収増益となりました。

< 連結業績予想 >

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期 第2四半期(累計)	175,000	108.9	5,500	122.2	6,300	114.9	4,000	112.6
通期	350,000	108.2	12,000	119.3	13,500	113.8	9,000	117.6

2019年3月期の連結業績予想につきましては、本年5月10日に公表いたしました予想数値から変更はありません。また、配当金につきましては、1株につき年間30円を予定しております。